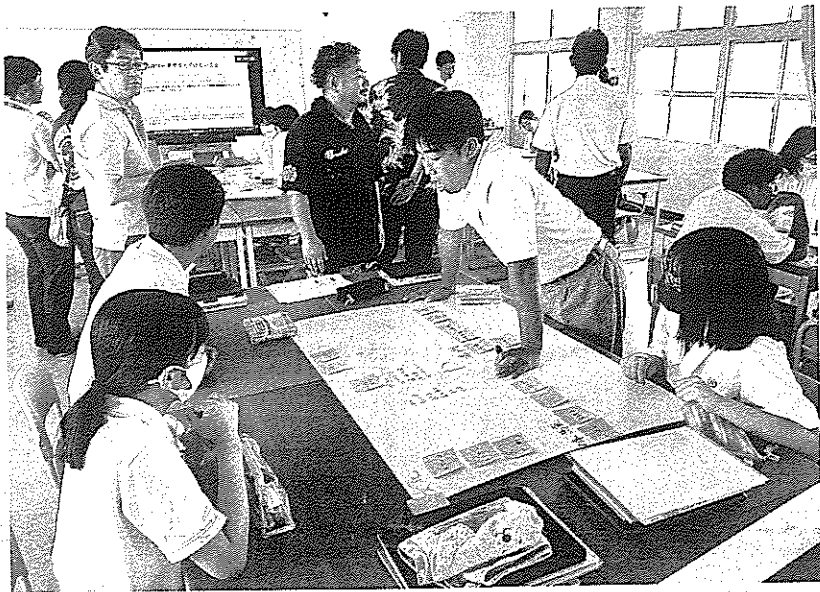


掲載元：奄美新聞
掲載日：9月22日(日)



島の観光スポットや伝統文化などを考える高校生ら（19日、沖永良部高校）

島の魅力を確認

高校生が企画 修学旅行プランの造成へ

【沖永良部】島外の高校生に向けた修学旅行プランを作る企画会議が19日、沖永良部高校であった。商業科の3年生21人がプランナーとなり、島で得られる体験や学びについて考えた。

おきのえらぶ島観光協会では今年度、高校生がプランナー（企画立案者）となって、島の修学旅行プランを造成する取り組みを行

っている。観光庁「地域観光新発見事業」を活用し、今回第一回の企画会議を開いた。

初めに、講師を務めた東京都立大学都市環境学部観光科学科の清水哲夫教授が、沖永良部島で観光に取り組み意義や体験コンテンツを作るコツについて講話した。

続いてグループワークを実施。高校生らは、ケイピングや芭蕉布、エイサー、ワンジョビチなど、ほかの人に勧めたいと思う島の観光資源を探した。

3年の中倉はなつき（18）は「沖永良部の景色を楽しめて、島の人の温かさを感じられるプランを考えたい」と話した。

清水教授は「島で体験できるアクティビティに島の文化的な要素を結び付けてみると思いもしないようなコンテンツができる。自由に発想してほしい」と話した。